

平成24年度 ホームヘルプの質を高める研修会 開催要綱

1. 趣 旨

平成24年度、介護保険法改正により、医療、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく、一体的に提供する「地域包括ケアシステム」が示され、その実現に向けてホームヘルプサービスには、大きな期待が寄せられている。

本研修会では、サービス提供責任者および管理者を対象に、ホームヘルパーの地位向上やより質の高いサービスの提供を図るため、ホームヘルプサービスのあるべき姿を研究・協議する。

2. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国ホームヘルパー協議会

3. 期 日 平成24年12月10日(月)～11日(火)

4. 会 場 全国社会福祉協議会 5階会議室

5. 参加対象 ホームヘルプサービス事業関係者(サービス提供責任者、管理者等)

6. 定 員 100名

7. 参加費 全国ホームヘルパー協議会会員 7,000円 会員外 10,000円

8. 内 容

◆1日目【全体会】 12月10日(月)13:30～17:00

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会・オリエンテーション・挨拶
- 13:40～14:40 行政説明「制度改正からみるホームヘルプ事業の将来像(仮題)」
厚生労働省老健局振興課(予定)
- 14:40～15:00 休憩
- 15:00～17:00 シンポジウム「地域包括ケアの現実と課題
～ホームヘルプ事業はどうあるべきか」

平成24年4月より施行された介護保険の改正では、高齢者が地域で自立した生活が営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが包括的に切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現をめざしている。そこで、ホームヘルプ事業がこれを実現するためどのように取り組んでいくのかについて考える。

シンポジスト

小林 功 氏(長野県富士見町社会福祉協議会 事業所長)
成瀬 和子 氏(特定非営利法人 しみんふくし滋賀 専務理事/事務局長)
力徳 キヨ子氏(北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長/
全国ホームヘルパー協議会 副会長)

コーディネーター

市川 一宏 氏(ルーテル学院大学 学長)

◆2日目 12月11日(火)9:30～12:00

第1分科会 ヘルパーの専門性とは何か～個別援助計画から考える

ホームヘルプサービスを行う際にどのような視点で、何を大事にして業務にあたっているのか。事例を通して検証し、ホームヘルパーの専門性について学ぶ。

運 営 全国ホームヘルパー協議会
進 行 【調整中】

第2分科会 管理者に求められる“マネジメント力”とは

より質の高いホームヘルプサービスをめざして、職員の管理を担う立場(管理者、サービス提供者等)として、職場内のホームヘルプの質の向上を図るためにどのように取り組んでいるか(例:職場内の情報共有の方法、ケースカンファレンス等)についてグループワークや情報交換を通して学ぶ。

講 師 畠山 仁美 氏(長野社会福祉専門学校 非常勤講師)

9. 参加締切

平成24年11月30日(金) ただし定員になり次第締め切りさせていただきます

10. 参加申し込み

「参加申込・宿泊のご案内」をご覧のうえ、別紙申込書により、名鉄観光新霞が関支店にお申し込みください。

11. 問合せ先

○内容に関する問い合わせ先

全国社会福祉協議会 地域福祉部 全国ホームヘルパー協議会 担当:菊池、佐川
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858
Eメール: z-chiiki@shakyo.or.jp

○参加申し込み、宿泊等に関する問い合わせ先

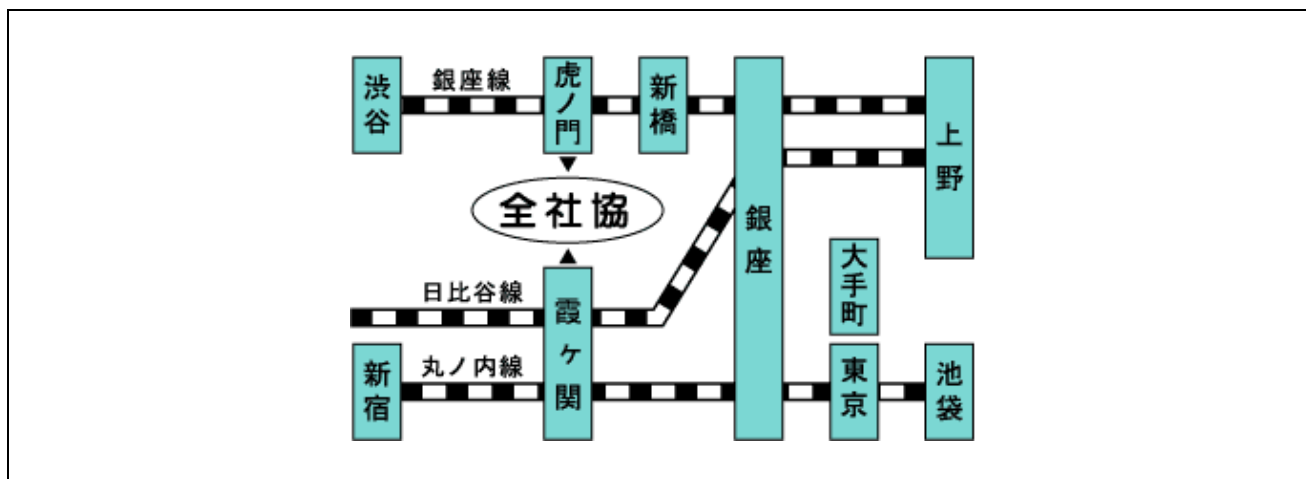
名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当:波多野
〒100-0013 東京都千代田区幾霞が関3-3-2 新霞が関ビル LB 階
TEL03-3595-1121 FAX03-3595-1119

◇会場のご案内



〒100-8980 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号

◇交通機関のご案内



- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分
- 地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- 地下鉄千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分